

下議委 第 18 号

令和 7 年 3 月 21 日

下田市議会議長 中 村 敦 様

議会運営のデジタル化特別委員会

委員長 浜 岡 孝

議会運営のデジタル化特別委員会中間報告書について

本特別委員会は、令和 6 年 3 月 15 日に設置されて以降、デジタル技術を活用して議会機能を強化することを目的として調査研究を進めていますが、下田市議会会議規則第 45 条第 2 項の規定に基づき、これまでの経過と活動について、別紙のとおり中間報告いたします。

## 「議会運営のデジタル化特別委員会」中間報告書

本特別委員会は、地方自治法第109条及び下田市議会委員会条例第6条の規定により、令和6年3月15日に設置されました。議会運営のデジタル化に係る調査研究を行うことを目的としており、タブレット等の導入及び共創プラットフォームの構築に関する事項に関し調査研究を進めています。

この度、優先的取り組み事項として、タブレット等のデジタル機器の導入及び環境整備についての調査研究を進め、その経過及び活動内容について、下田市議会会議規則第45条第2項の規定により、中間報告として報告します。

### 1. 設置の経過とこれまでの委員会開催状況及び内容

令和6年3月15日の本会議において本特別委員会が設置され、以下の6名が委員に選出された。

委員長	浜岡 孝
副委員長	大西 將由
委員	柏谷 祐也
委員	長友 くに（令和6年6月16日失職）
委員	岡崎 大五
委員	江田 邦明
※委員	天野 美香（令和6年7月9日選任）

その後、次のとおり、9回にわたる委員会と当局を交えた協議会を開催し調査研究を進めてきた。

1. 令和6年3月15日 正副委員長の互選
2. 令和6年4月3日 本特別委員会に係る基本的事項について  
伊勢原市議会視察について
3. 令和6年4月15日 ペーパーレス会議システムのデモンストレーション
4. 令和6年4月26日 神奈川県伊勢原市議会視察
5. 令和6年6月13日 伊勢原市議会視察の振り返りについて  
今後の方向性について
6. 令和6年10月16日 【協議会】下田市DX推進プロジェクトの進捗状況について
7. 令和6年12月2日 今後の方向性について
8. 令和6年12月5日 議会に対し経過報告
9. 令和7年1月28日 委員会報告に向けて

## 2. 調査研究事項

当市議会において、デジタル機器を積極的に活用することによってデジタル化を推進し、効率的で円滑な議会運営を行い、もって議案審議の充実、情報の共有化等を図るため、市議会の本会議、各委員会等において、議員及び職員がデジタル機器を利用することについて次の各号に掲げる内容について調査研究を行うこととした。

ただし、まず第一ステップとして、タブレット等のデジタル機器の導入を最優先事項として検討を行うこととした。

### (1) 議会運営の効率化・迅速化

- ・ペーパーレスの推進（タブレット等デジタル機器の導入で紙資料をデジタル表示）
- ・コピー、製本、差し替えなど事務作業の軽減、業務スピードの向上

### (2) 議会の見える化・魅せる化

#### <議会の見える化>

- ・議場の ICT 化など分かりやすい議会運営（傍聴者にも情報提供）  
⇒ 説明資料・持ち込み資料のデジタル化、大型スクリーンの導入

#### <議会の魅せる化>

- ・議会のライブ中継、SNS の活用など議会情報のデジタルによる積極的公開

### (3) 議会の活性化、議員の資質向上

- ・情報伝達の迅速化、議会スケジュール及び情報共有による事務作業の確実性の向上、エビデンス性の確保
- ・情報ソースの拡大、市民への迅速な情報開示

### (4) 危機管理体制の強化

- ・災害情報の共有化、情報伝達の迅速化
- ・議会BCP整備（議会・委員会のオンライン開催、条例改正）

### 3. 調査研究の中間報告：デジタル化を推進するためのプラットフォームの整備

#### (1) タブレットとペーパーレス会議システムの導入について・機器等の選定について

当市議会におけるペーパーレス会議システムやそれに使用する機器等について、現段階においては、下記を採用することが望ましいものとの結論に至っている。

##### ■ペーパーレス会議システム

キッセイコムテック(株)：SmartDiscussion.

【理由】・実際にトライアルで複数システムを利用して見たが、使い勝手など最も評価が高かった。

- ・多くの議会で活用されている実績がある。
- ・サポート体制が優れていると考えられる。

##### ■タブレット端末

上記システムを稼働させるにあたり推奨されるスペック以上を有するもの

WiFiでの通信が可能で画面サイズが13インチ程度のもの

オペレーティングシステムはMicrosoft Windows11以降のもの

【理由】・Microsoft officeなど、業務で使用するアプリケーションとの相性が良い。

- ・資料を比較するなど2画面で活用する機会が多いことが想定されるため、2画面で利用しやすい大きな画面であることが望まれる。
- ・WiFiモデルとLTE（通信モデル）の選択については、基本的に議場等ではWiFi環境を整備することとしており、また屋外等でインターネット環境を必要とする場合は、各々がすでに利用しているインターネット環境を用いることとする方針であり、WiFiのみの機能で充足されると判断した。

#### (2) 通信環境整備について

上記システムを使用するにあたり、議場周辺における通信環境整備が必要となるが、当該整備に要する経費についての予算措置等については、引き続き当局との協議を要するものであり、ペーパーレス会議システムの早期稼働に向け、当局との協議を進め、できるだけ早い時期の整備が望まれる。

なお、使用回線については、当局との相互利用を考慮した場合、また、本特別委員会が採用すべきとしたペーパーレス会議システムを利用する場合には、LGWANではなくインターネット回線の使用が有効と考えられることから、稼働に向けたインターネット回線の通信環境整備が急がれる。

### (3) 使用規程等の整備について

本件中間報告のとおり、ペーパーレス会議システムやタブレット端末等を整備するにあたっては、その使用方法についても一定の制限を設ける必要があるものとする。議場外へ持ち出す際の留意事項やタブレット端末にインストールするアプリケーションの制限など、他市町における導入事例等を参考に、本格稼働前には当市独自の使用規程等を定めるべきものとする。

### (4) 稼働時期について

本特別委員会においては、当局を交えた協議会において、令和8年度に更新が予定されているGIGA端末（画面サイズ10.4インチ、iOS）の再利用についても検討したところだが、本特別委員会が採用すべきとしたタブレット端末とのオペレーティングシステムや画面サイズの相違、また本特別委員会が採用すべきとしたペーパーレス会議システムの機能が一部制限されること、さらにはGIGA端末を再利用する場合には、令和8年度以降の稼働が想定されることなどから、GIGA端末の再利用を回避したものであり、新たにタブレット端末を整備し、早期にシステムを稼働させるべきものとする。

なお、議会側が当局より先行して稼働させても、基本的なプラットフォーム（ペーパーレス会議システムのアプリケーション、通信ネットワーク等）を共通化しておけば、議会と当局の齟齬を招来させることはないとする。

少人数である議会が先行して取り組むことで、大人数の当局が導入する前に、稼働上の課題の抽出やより良い使い方を探ることも可能である。

### (5) 予算措置について

令和7年度当初予算においては、債務負担行為の設定のみとしているものの、今後もさらに調査研究を進め、できるだけ早い段階での導入を目指し、財政当局には理解と柔軟な対応を求めたい。

おわりに

当市議会では、これまでLINE WORKS というビジネスツールを導入して、簡単なチャット、スケジュール連絡、資料の共有などを進めてきており、以前に比して、議員全員と事務局が積極的に活用することで、効率化が進んできていると言えるでしょう。

しかし、会議資料のペーパーレス化、情報伝達の多様化、オンラインネットワークを活用した会合の実施など、さらにデジタル技術を活用して先進的な議会活動に取り組むことが求められています。災害時においても平常時と同様にコミュニケーションが図られ、市民に開かれ市民の負託に応えるためさらなる新たな価値の創造に向けた議会活動が推進できるように体制整備を進めることが肝要です。

市の財政状況は厳しいものがありますが、デジタル化の推進は議会活動の基盤的な整備であり、中長期的には生産性向上に寄与するものと期待されることから、優先度は高いものがあると判断しています。

本調査をさらに進め、デジタル化が着実に実現できるよう、下田市議会として意思統一し、訴求していくことを本特別委員会の中間報告として望みます。

令和7年3月21日

議会運営のデジタル化特別委員会

委員長 浜岡 孝

下田市議会議長 中村 敦 様